

# 資料 3 - 7 - 1 医療班のチーム編成

令和5年4月1日現在 道地域医療課調べ

医療班長	北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長	
副班長	北海道保健福祉部技監 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長	
チーム名	編成機関	チーム数
企画調整チーム	北海道保健福祉部総務課	} 1
	〃 〃 地域医療推進局地域医療課	
	〃 〃 健康安全局地域保健課	
	〃 後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室	
救護チーム	北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室	1
	〃 胆振総合振興局保健環境部保健行政室	1
	〃 胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室	1
	(一社)北海道医師会	2
	災害拠点病院	26
	合 計	31
医療チーム	北海道大学病院	1
	旭川医科大学病院	1
	札幌医科大学附属病院	1
	国立病院機構北海道がんセンター	1
	〃 北海道医療センター	1
	旭川赤十字病院	1
	伊達赤十字病院	1
	J A北海道厚生連倶知安厚生病院	1
	北海道社会事業協会小樽病院	1
	〃 岩内病院	1
	〃 余市病院	1
	小樽市立病院	1
	(一社)北海道放射線技師会	1
原子力事業者(スクリーニング要員)	(14名)	
	合 計	13
道外の原子力災害医療派遣チーム	弘前大学、量子科学技術研究開発機構放射線医学研究所 ほか	

※ 各編成機関に対しては、災害発生時にその状況に応じて派遣を要請する。

※ 防護対策地区周辺の医療機関は、一般傷病者に対する医療活動をその所在地において実施する。

※ 災害の状況等により上記の機関で医療班の編成が困難な場合は、陸上自衛隊に要員派遣を要請する。